

2023年12月7日

## 電通、「生活者のサステナアクション調査」を実施

－ゴミの「分別」や「リサイクル」は9割超が実践－

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：樽谷 典洋）は、全国15～79歳の生活者1400人を対象に、「生活者のサステナアクション調査」（以下「本調査」、調査期間2023年9月30日～10月3日）を実施しました。

本調査は、生活者のサステナビリティに関する行動（サステナアクション）、さらにその背景にある価値観の分析を目的に実施しました。本調査から得られた主なファインディングスは次のとおりです。（詳細は次ページ以降を参照）

### 【主なファインディングス】

- ① 「サステナビリティに配慮した生活をしたい」と思う人は約半数（49.1%）、男女ともに15～19歳が多い。思わない人は2割以下（16.9%）。
- ② 「サステナビリティに配慮した生活をしたい」と思う人のうち、実際にできている人は4割強（42.1%）。
- ③ ほとんど（97.9%）の人が日々の生活において「22個のサステナアクション」\*を実践し、ゴミの分別やリサイクルを行っている人は9割超（90.9%）。
- ④ 生活者のサステナビリティに関する意識・行動をクラスター分析し、7タイプに分類。「22個のサステナアクション」を多く実践しているタイプは、「スマートライフスタイル層」「サステナエバンジェリスト（伝道者）層」「サステナ定着層」。

注）本調査における構成比（%）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

※ 22個のサステナアクション=サステナビリティに関する行動22個を電通が選出。（下記参照）

①ゴミを分別／不用品をリサイクル／ペットボトル回収 ②マイボトル・エコバッグを活用 ③詰め替え商品を購入 ④長く使えるものを購入／修繕 ⑤節水や節電やエコ運転・省エネ ⑥ゴミを削減／紙資源を節約する ⑦自分の暮らす地域の農産、海産物の消費 ⑧消費期限の近いものから手に取る（手前取り） ⑨環境に配慮した移動手段利用 ⑩中古品やリサイクル品活用 ⑪できるだけものを持たない・ミニマリスト生活 ⑫地域通貨などの地域消費 ⑬地域貢献活動 ⑭環境や人権やDEI等に配慮する企業を選択 ⑮フェアトレード商品購入 ⑯サブスクリプション活用 ⑰環境配慮型住宅やエコカー購入 ⑱クラウドファンディング・寄付 ⑲サステナビリティに関する情報発信 ⑳シェアリングサービス活用 ㉑サステナビリティに関連するイベント参加 ㉒2拠点生活・住む場所を固定しない

【各ファインディングスの詳細】

① 「サステナビリティに配慮した生活をしたい」と思う人は約半数（49.1%）、男女ともに15～19歳が多い。思わない人は2割以下（16.9%）。

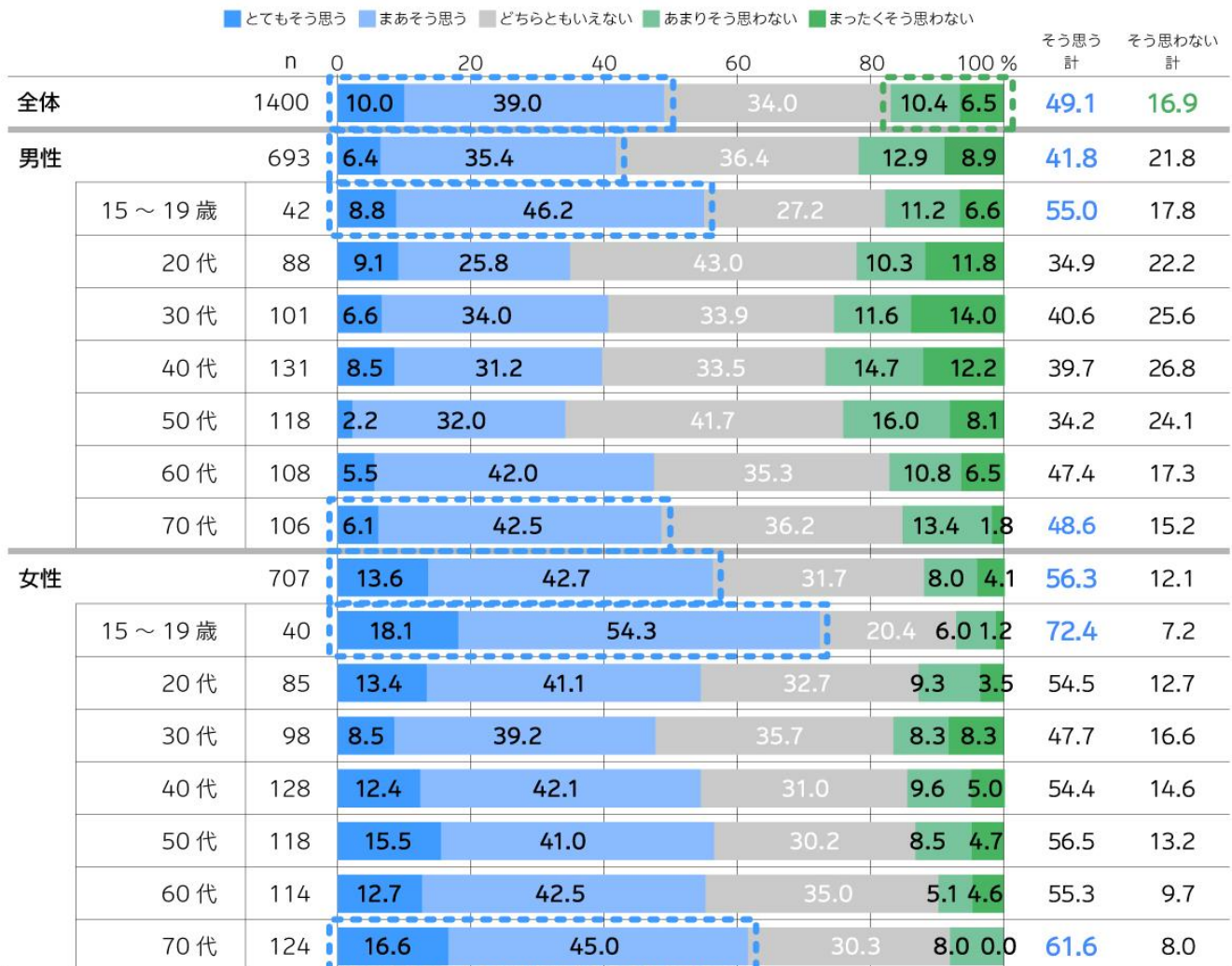
- 「（現在できている、できていないにかかわらず）サステナビリティに配慮した生活をしたいと思う」とした人（「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計）は約半数（49.1%）。「サステナビリティに配慮した生活をしたくないと思わない」とした人（「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の合計）は2割以下（16.9%）。

【図表1】

- 「サステナビリティに配慮した生活をしたいと思う」人は、男性（41.8%）より女性（56.3%）が多い。男女ともに、15～19歳（15～19歳男性：55.0%、15～19歳女性：72.4%）が最も多く、次いで70代（70代男性：48.6%、70代女性：61.6%）が多い。【図表1】

【図表1】

Q.（現在できている、できていないにかかわらず）あなたはサステナビリティに配慮した生活をしたいと思いますか。

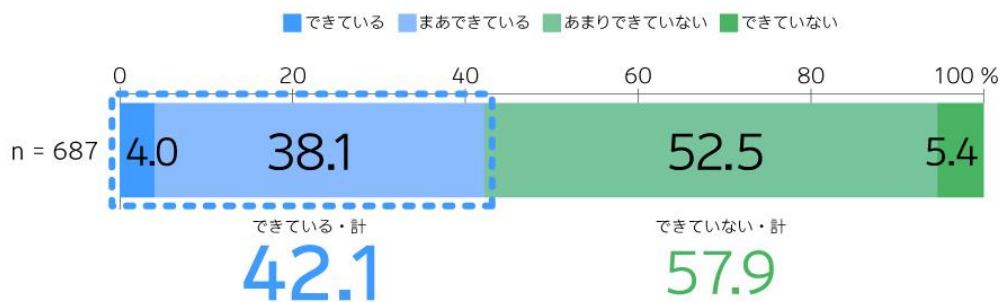


②「サステナビリティに配慮した生活をしたい」と思う人のうち、実際にできている人は4割強（42.1%）。

- 「（現在できている、できていないにかかわらず）サステナビリティに配慮した生活をしたいと思う」とした人のうち、「実際にサステナビリティに配慮した生活ができている」とした人（「できている」「まあできている」の合計）は42.1%。【図表2】

【図表2】

Q.実際にサステナビリティに配慮した生活ができていますか。



※n数は、図表1のQ「（現在できている、できていないにかかわらず）あなたはサステナビリティに配慮した生活をしたしたいと思いますか。」に、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した人。

③ほとんど（97.9%）の人が日々の生活において「22個のサステナアクション」を実践し、ゴミの分別やリサイクルを行っている人は9割超（90.9%）。

- 日々の生活における「22個のサステナアクション」を実践している人は97.9%。【図表3】
- 「ゴミを分別する／不用品をリサイクル／ペットボトル回収」を行っている人は9割超（90.9%）。【図表4】

【図表3】

Q.あなたは「22個のサステナアクション」で「日常的に」もしくは「たまに」実践されているものはありますか。



【図表4】

Q.あなたは以下のサステナアクションで「日常的に」もしくは「たまに」実践されているものはありますか。(n:1400)

	実施者 n	0	20	40	60	80	100%
ゴミを分別 / 不用品をリサイクル / ペットボトル回収	1272					90.9%	
マイボトル・エコバッグを活用	1242					88.7%	
詰め替え商品を購入	1133					80.9%	
長く使えそうなものを購入 / 修繕	1125					80.4%	
節水や節電やエコ運転・省エネ	1106					79.0%	
ゴミを削減 / 紙資源を節約する	1079					77.1%	
自分の暮らす地域の農産、海産物の消費	777					55.5%	
消費期限の近いものから手に取る(手前取り)	743					53.1%	
環境に配慮した移動手段利用	706					50.4%	
中古品やリサイクル品活用	680					48.6%	
できるだけものを持たない・ミニマリスト生活	642					45.9%	
地域通貨などの地域消費	472					33.7%	
地域貢献活動	361					25.8%	
環境や人権や DEI 等に配慮する企業を選択	334					23.9%	
フェアトレード商品購入	317					22.6%	
サブスクリプション活用	287					20.5%	
環境配慮型住宅やエコカー購入	280					20.0%	
クラウドファンディング・寄付	270					19.3%	
サステナビリティに関する情報発信	213					15.2%	
シェアリングサービス活用	213					15.2%	
サステナビリティに関連するイベント参加	195					13.9%	
2拠点生活・住む場所を固定しない	174					12.4%	

④生活者のサステナビリティに関する意識・行動をクラスター分析し、7タイプに分類。「22個のサステナアクション」を多く実践しているタイプは、「スマートライフスタイル層」「サステナエバンジェリスト(伝道者)層」「サステナ定着層」。

- 日々の生活における「22個のサステナアクション」を実践する生活者の意識と行動をクラスター分析し、「スマートライフスタイル層」「サステナエバンジェリスト(伝道者)層」「サステナ定着層」「地域貢献層」「経済メリット重視層」「フォロワー層」「無関心層」の7タイプに分類。【図表5】

- 「22個のサステナアクション」を多く実践しているタイプは、サブスクリプションや家など物を持たずに生活する傾向の強い「スマートライフスタイル層」(平均14.4個)、サステナビリティに関する情報の収集や発信を行う「サステナエバンジェリスト(伝道者)層」(平均13.8個)、ゴミを出さない、食品ロスを生まないなどの意識が高い「サステナ定着層」(平均11.7個)。**【図表5】**

【図表5】

サステナビリティに関する生活者の意識・行動7タイプの特徴

<p><b>スマートライフスタイル層</b></p> <p>11.3%</p> 	<p>「サステナに配慮したい」というより、社会の流れなどを合理的に判断し「できるだけ物を持たない」といった生活スタイルを志向。サブスクリプションサービスや2拠点生活、シェアリングなどを実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ サステナアクション実施数(全22個) <b>14.4個</b></li> <li>■ サステナ配慮生活意向率 <b>53.9%</b></li> <li>■ サステナ配慮による生活費アップ許容 <b>34.9%</b></li> </ul>
<p><b>サステナエバンジェリスト(伝道者)層</b></p> <p>9.0%</p> 	<p>サステナに配慮する意識が高く、DEIなどに配慮した製品を選ぶなど、新しい価値観に適応すべく情報の収集や発信をする。節水、エコ運転、リペアをして長く使うなど、限りある資源を大事にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ サステナアクション実施数(全22個) <b>13.8個</b></li> <li>■ サステナ配慮生活意向率 <b>70.4%</b></li> <li>■ サステナ配慮による生活費アップ許容 <b>39.9%</b></li> </ul>
<p><b>サステナ定着層</b></p> <p>14.7%</p> 	<p>サステナビリティにつながる行動が日常生活の中に根付き、分別やマイボトル/バッグ、手前取りをはじめ、ゴミを出さない・食品ロスを生まないなど、「無駄にしない」ことへの意識が高い。フェアトレード商品にも関心がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ サステナアクション実施数(全22個) <b>11.7個</b></li> <li>■ サステナ配慮生活意向率 <b>66.8%</b></li> <li>■ サステナ配慮による生活費アップ許容 <b>22.1%</b></li> </ul>
<p><b>地域貢献層</b></p> <p>24.3%</p> 	<p>分別やマイボトル/バッグなどの、世に広く採用されている「サステナアクション」を取り、地域コミュニティに根差した消費行動や生活スタイルを志向。地産地消費・地域通貨利用も実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ サステナアクション実施数(全22個) <b>10.1個</b></li> <li>■ サステナ配慮生活意向率 <b>56.2%</b></li> <li>■ サステナ配慮による生活費アップ許容 <b>16.5%</b></li> </ul>
<p><b>経済メリット重視層</b></p> <p>18.5%</p> 	<p>「環境にいいこと」の意識を背景に分別やエコ運転などは実践しているものの、それによって面倒くさいことが増え生活費が上がることは避ける傾向がある。節約意識が高いため、環境配慮交通手段での移動などは一石二鳥か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ サステナアクション実施数(全22個) <b>8.5個</b></li> <li>■ サステナ配慮生活意向率 <b>43.5%</b></li> <li>■ サステナ配慮による生活費アップ許容 <b>8.5%</b></li> </ul>
<p><b>フォロワー層</b></p> <p>12.4%</p> 	<p>積極的にサステナビリティに配慮した生活を実践することやその成果についても関心が低い。インフラが整備されていれば受容する傾向で、店頭で詰め替えレフィルが多ければ詰め替えをし、マイバッグも実践している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ サステナアクション実施数(全22個) <b>6.2個</b></li> <li>■ サステナ配慮生活意向率 <b>29.3%</b></li> <li>■ サステナ配慮による生活費アップ許容 <b>8.9%</b></li> </ul>
<p><b>無関心層</b></p> <p>9.7%</p> 	<p>サステナビリティへの関心が低く、世の中で普及している「サステナアクション」であるゴミの分別自体も実践率が低い。サステナビリティの何がよいかわからず興味もない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ サステナアクション実施数(全22個) <b>3.6個</b></li> <li>■ サステナ配慮生活意向率 <b>15.9%</b></li> <li>■ サステナ配慮による生活費アップ許容 <b>14.7%</b></li> </ul>

【調査概要】

- ・ 目的：国内における生活者のサステナビリティに関する行動（サステナアクション）、さらにその背景にある価値観の分析
- ・ 対象エリア：日本全国
- ・ 対象者条件：15～79歳男女
- ・ サンプル数：1400（性年代各100人ずつ、計1400人を人口構成比でウエイトバック集計）
- ・ 調査手法：インターネット調査
- ・ 調査期間：2023年9月30日～10月3日
- ・ 調査機関：株式会社電通マクロミルインサイト

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン 広報オフィス 電通広報部  
松島、大草、抱井  
Email : [koho@dentsu.co.jp](mailto:koho@dentsu.co.jp)

【調査に関する問い合わせ先】

株式会社電通 サステナビリティコンサルティング室  
清水、竹嶋、福井  
Email : [sus.consult@dentsu.co.jp](mailto:sus.consult@dentsu.co.jp)